

平成31年度 大正区事業・業務計画書

資料番号 9

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
45	「こどもサポートネット」の実施	平成31年4月1日 保健福祉課こども・教育 永田		

項目	内容	
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	子どもの生活に関する実態調査から「①困窮度の高い子育て世帯には複合的な課題がある。」「②諸施策はあるが十分に届かず適切な支援ができていない」ことが明らかになり、教育分野と福祉分野が連携した総合的な支援が必要となっている。 支援の必要な子ども(世帯)を発見し、適切な支援につなぐ仕組みを構築する。
	内容	1. 子どもたちが多くの時間を過ごす学校において、支援の必要な子ども(世帯)を発見する仕組みの構築。 (1)発見の場の設置⇒ チーム学校において、スクリーニング会議を設置する。 (2)発見ツールの導入⇒ 各校において全児童生徒を対象にしてスクリーニングシートを作成し、課題発見に活用する。 2. 区役所、学校、地域、支援機関が連携し、スクリーニングシートにより抽出されたこどもと子育て世帯が抱える課題に対し、全件状況把握・総合的支援を効果的に実施。 (1)必要な支援につなぐアセスメント⇒区役所(関係課・区SSW・SSW・推進員等)、学校(校長・教頭・養護教諭・担任・SC等)、地域(民生委員・児童委員・主任児童委員・保護司等)、関係機関(こども相談センター、医療機関等)による教育分野・福祉分野の支援の見立て 3. 区役所、学校、地域、支援機関が支援状況を情報共有することにより、より適切で効果的な支援を行う。 (1)支援状況(進捗)を推進員が把握し、スクリーニング会議で報告する。 (2)スクリーニングシートを定期的に更新することによって支援効果を検証し報告する。 (3)スクリーニング会議で全件情報共有することにより、支援方針を再検討し、より効果的で適切な支援につなぐ また、会議等において協議、報告等がなされた事項は「地域福祉推進会議」に報告等を行い、施策提言につなげていく。
	予算額(予算科目)	10,748千円(こども青少年局、教育委員会からの配付)
	事業実施期間(回数)	通年
	事業対象者(人数)	区内児童、生徒
委託関係	契約・入札方法	公募
	募集要項のポイント	社会福祉士等の資格の設定
	仕様書のポイント	-
	選考委員等選考方式	-

スケジュール(実施決算、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月5日 3月			
	4月5日 6月			
	7月5日 9月			
	10月5日 12月			
	1月5日 3月			
備考				

平成31年度 大正区事業・業務計画書

項目	内容		
講座・イベント・会議名	スクリーニング会議		
イベント等開催関係	開催日時	定期開催	
	開催場所	各校	
	区役所の主催等	主催	
	その他主催団体・組織等	-	
	共催団体・組織等	-	
	後援団体・組織等	-	
	目標事業規模	-	
	その他留意事項	-	
	イベント等 当日タイムテーブル	①クリーニングシート作成(学校) ②スクリーニング会議Ⅰ(学校) ③学校・SSW・推進員打ち合わせ ④スクリーニング会議Ⅱ(前回ケース振り返り・ケース検討) ⑤児童生徒・家庭への支援	
	挨拶者	-	
	来賓紹介	-	
	祝電紹介の方法	-	
	動員の方法	-	
その他他課との連携等	学校、地域、関係機関等		
前年度実績	11月末 27回開催		
業績目標	実績	各校(小学校10校、中学校4校)単位でアセスメント会議を実施し、クリーニングシートにより支援が必要とされた児童全てを具体支援先へ繋ぐ。	自己評価
成果目標	実績	具体的支援により、課題や状況等が解決、改善された児童の割合:50%	
中期展望	支援が必要とされるこどもと世帯数を減少させる。		
成果目標が中期展望に寄与する理由	教育分野と福祉分野が連携し、こどもと世帯を総合的に支援し、貧困の連鎖を断ち切る一助にする。		
修正履歴			